

## ブル走行中(後退)にオペが降車して？ 轢死！

— 機械を離れるときは短時間でもエンジン停止！ —

- ☆ 平成21年2月26日(木)午後4時15分頃ころ、東松島市矢本の大型店舗敷地造成工事現場で、ブルのオペレーターが自分の運転するブルに轢かれて死亡する事故が発生しました。  
これで平成21年の県内建設業の死亡災害は3件目となりました。
- ☆ 元請は全国展開企業で、被災者所属会社は仙台市所在の二次下請業者でした。
- ☆ 作業が行なわれていた場所は既存大型店舗等が集まる商業タウンに隣接する平坦地で、現在、同タウンの拡張のため造成工事が行なわれています。
- ★ 被災者(男性・61歳・土工)はこの現場で車両系建設機械(ブルドーザー、機体重量3.3t)を用いて碎石の敷き均し作業をしていましたが、何らかの理由で運転席を離れ、後進中のブルドーザーに轢かれ、履帯の下敷きになったものです。  
当該ブルドーザーは後進方向に停めてあったダンプまで進行し、ダンプにぶつかりました。ダンプの陰にいた同僚が救出しましたが、死亡したものです。
- ★ 被災者所属会社は当日、7名が現場にいましたが、ブルによる敷き均し作業は被災者の単独作業でした。(被災者は運転技能講習修了済みです)
- ★ 被災者がなぜ自分の運転するブルドーザーに轢かれることとなったかは不明ですが、事故直前に被災者が後進中のブルドーザーの履帯上に立っておりその後轢かれるに至るまでを現場内の他社作業員が目撃していることから、エンジンを止めずに運転席から離脱し、又は運転席に戻ろうとして履帯に巻き込まれたのではないかと考えられます。  
なお、当該ブルドーザーは、操作レバーの切り替えのみで前進・後退の動作をすることが確認されていますので、乗り降りの際に身体等がレバーに触れた可能性も否定できません。
- ☆ 本件原因は当局で調査中ですが、たとえ短時間でも運転席を離れるときは、こまめにエンジンを切る等の配慮や、このような災害事例について折に触れ話し合うことをお勧めします。

### 09,2,27 河北朝刊

■ブルドーザーの下敷き、作業員死亡二十三日午後四時十五分ころ、東松島市小松の大型店舗敷地造成工事中、青森県今別町(震月)で、作業員米田九二男(さん)がブルドーザーの下敷きになり、胸などを強く打って死亡した。石巻署の調べでは、米田さんがブルドーザーで造成作業中、いったん降車し、再び乗ろうとした際、キャタピラに巻き込まれたらしい。

写真はイメージするために筆者がWEBサイトから収集したものであり、事故の現物ではありません。なお、ブルは事故機の類似機です。



ブルが後進して、オペを轢いた。  
本図は、被災者救出のために前進させたあとの位置。



事故発見時はブルがこの位置(ダンプに衝突)にあった。